

東京都農業会議情報

第307号

平成20年11月

編集及び発行
東京都農業会議
渋谷区代々木2-10-12
TEL (03) 3370-7145

神戸市の農業施策・条例ゾーンによる保全 農業委員会活動の研究

都農業会議は、10月28日
29日にかけて、神戸市にお
いて農業委員会会長研究会
を開きました。

会長研究会には、農業委
員会会長など約60人が参加
しました。

神戸市は「農漁業ビジョン
2010」を策定し、きめ細
かい農業振興施策を図ると
もに「人と自然との共生ゾ



神出ファームビレッジでは集落の合意
形成までの経緯や取り組みなどを聞いた

農業委員会会長研究会開く



神戸市農委会の活動について
話す藤田神戸市農委会長

ンの指定等に関する条例」を
制定し、ゾーンニングにより
「農業と周辺環境を一体的に
保全する」といった先進的な
取り組みを実施しています。

第1日目は、神戸市農政計
画課の林係長より「神戸市の
農業の概要と施策」を、仲村
係長より「人と自然の共生ゾ
ーン」について説明を受けた
後、「神出ファームビレッジ」
(人と自然の共生ゾーン)の

取り組みを現地
研究しました。
人と自然との
共生ゾーンは、
特に市街化調整
区域における農
地と周辺の環境
を「地域で守る」

といった考え(地域合意)の
もと指定をし、里づくりを進
めようとするもので、神出フ
ームビレッジでは、田中自
治会長などから、集落の合意
形成の苦労話から直売所や
市民農園の設置などハード事
業導入までの経緯について説

平成21年度の事業・予算の構想など協議

都農業会議は、10月6日に、
区市町村主管課長、農業委員
会長など77人の出席を得て、
賛助員協議会を開きました。

協議では、平成21年度の事
業および予算の構想、賛助員
拠出金について説明をし、了
承いただきました。

また、農業委員会・農業会
議提携活動の推進について説
明をし、農地法・税制改正に
向けた動きの中で連携強化を
はかり、さらなる活動に取り
組むこととしました。

明を受け、現在進めている取
り組みなどについて現地研究
をし、意見交換をしました。
第2日目は、神戸市農業委
員会(藤田幸雄会長)の活動
を研究をしました。

神戸市農業委員会では、
積極的に、①不耕作地解消
事業、②認定農業者支援活
動、③建議活動、④広報活
動(農業委員会だよりを毎
月発行)などに取り組んで
おり、農業委員の日常活動
や神戸市独自の取り組みな
どについて意見交換をし
ました。

東京都農業会議賛助員協議会

農政問題では、農委会系統
組織の税制改正要望事項、農
地政策の見直しの動きなど
について報告をしました。



挨拶をする波多野会長

あぜみち

この号が出る頃には税調
の議論が煮詰まっているで
あろうが現在のところ内容
は全く見えてこない▼今回
の大綱には相続税制の見直
しと農地政策の変革に伴う
納税猶予制度が粗上にある
であろう▼課税方式はこれ
までの減税に伴う増税が目
的であろうが、それを遺産
取得課税で行おうとしてい
る▼しかし、このような課
税方式の変更の前に農地や
林地をはじめとする地域の
大切な資源に対して相続税
をどのように扱うか、十分
な議論をつくす必要がある
▼相続税等納税猶予制度は
農地の貸借にどう対応させ
ていくかが課題となるであ
ろう▼しかし、「農業相続人
の営農意志を第一としてい
る」現行制度の基本はどう
しても守っていかなければ
ならない。いづれの見直し
も現在期限切れの様相を見
せている▼農地はかけがえ
のない地域固有の財産であ
り、国民の生命の源である
▼都市計画法の見直しを前
に拙速な結論とならないよ
う強く望みたい

小平市の農業委員会活動・農業施策 先進的な農業経営を研究

農業委員会経営部会長研究集会開く

都農業会議はこのたび、農業委員会経営関係部会長研究集会を小平市において開きました。

小平市農業委員会（竹内武男会長）から同市の農業委員会活動や農業振興施策について発表が行われたほか、現地研究では小平市内で先進的な農業を行う3経営を見学しました。

無農薬のリーフレタスなどを生産する有限会社東京ドリムでは、浅見三二代表から話しを聞き、同社の「野菜工場」を見学しました。

季節の花々を客自身が摘み取りをするスタイルで販売す



来園者自らが花を摘みとり販売する経営を確立した小川さんから話しを聞く

る小川裕明さんの経営では、その運営の手法などについて

西東京市の農業委員会活動 農地保全対策の取り組みなど研究

農業委員会農地関係部会長研究集会開く

都農業会議は、10月15日に、西東京市にて、農業委員会農地関係部会長研究集会を開きました。

研究集会では、まず、同市農業委員会（貫井正彦会長）の篠宮武男事務局長から農業委員会活動の取り組みについて話しを聞きました。

西東京市では、平成18年度から認定農業者制度に取り組み現在では41人が認定を受けています。また、農地の保全対策として小麦体験事業に着手し「種まきから食べるまで」と、栽培体験をはじめ特産化、販路開拓まで取り組んでいます。

現地研究は、獲れたて野菜を直売所で販売し住民から好評を得ている桜井正行さんの経営と、どんな注文にも対応する多種のハーブづくりをす

話しを聞きました。

多品目野菜を生産する小野義雄さんの経営では、ほ場を見学し、妻の久枝さんが取り組むジャムやケーキの加工について話しを聞きました。



農業生産に都市のハーブを生産する小野さんからはこの話を聞いた

都内4地区で 農業委員研修会開く

都農業会議は、9月～10月にかけて農業委員研修会を都内4地区で開きました。

研修会では、東京農業の現状や情勢また農委会活動の推進などについて説明したほか、都農業振興事務所の朝長農務課長より、都の農業施策について説明を受けました。

常任会議員会議だより

第7回常任会議員会議

平成20年10月17日に開催し、状況は次のとおり。

議事

農地法4条・5条の規定に基づく知事諮問は、4条1件701㎡、5条5件2282・3㎡について審議をし、許可相当と答申する旨決定した。

協議

①企業の農業経営者の推進について説明し、今後も農業委員会、各団体と連携をはかりながら経営意欲のある農業者の支援を進めることとした。

②下期農業委員会活動の推進に向け、各農業委員会の目に見える積極的な活動に引き続き取り組むこととした。

第8回常任会議員会議

平成20年11月17日に開催し、状況は次のとおり。

議事

農地法4条・5条の規定に基づく知事諮問は、5条5件3938㎡について審議をし、許可相当と答申する旨決定した。（4条諮問はなし）

協議

①第48回企業の農業経営者顕彰事業受賞者について農業会議会長賞の交付を決定した。②第28回農業後継者顕彰事業受賞者について農業会議会長賞の交付を決定した。また、①②とも特に優秀な経営は都知事賞や全国農業会議所会長賞の交付申請をすることとした。

当面の農政問題では、①相続税制の見直しに関する要望について説明し、関係大臣・省庁および都議会に要請することとした。②納税猶予適正化協議会の状況を説明し制度の適切な執行がはかられるよう農委会と連携し適用農地の管理徹底をはかることとした。

埼玉県吉見町の女性農業委員の活動を研究 女性農業委員とおしの交流深める

女性農業委員・職員現地研究会開く

都農業会議は、10月22日に女性農業委員・職員現地研究会を開き、埼玉県吉見町の農委会活動や比企地域の女性農業委員の活動について研究と意見交換をしました。

吉見町農委会（小井川敏子会長）は、小井川会長を先頭に女性農業委員が活発に活動をし、特に女性ならではの視点で、家族経営協定の推進や建議活動、コメの消費拡大活動などに積極的に取り組んでいます。

また、現地研究会では、吉見町をはじめ埼玉県比企郡の女性農業委員で組織する「比企郡女性農業委員連絡会」の



吉見町農委会の活動などについて話す小井川会長（右）

メンバーが参加し、それぞれの農委会の取り組みや地域の紹介などをしながら、日常生活の進めかたなどについて、おおいに参加者との意見交換で盛り上がりました。

消費者を集め「東京農業発見ツアー」を開く

東京都農業経営者クラブ

東京都農業経営者クラブ（石川清会長）は、このほど、東京都消費者月間実行委員会との共催により「東京農業発見ツアー」を立川市において開きました。

同クラブが消費者向けの農家見学会を開くのははじめてで、このツアーにはマイクロバス2台が満席になる50人の消費者などが参加しました。

立川市内で、花きを生産する川野進さん、酪農を営む中里伊平次さん、緑化樹を生産する須崎義弘さん、野菜を生産する粕谷秀夫さんの経営を見学しました。また、昼食は、消費者月間

千葉県柏市の都市農業を研究

東京都農業経営者クラブ

都農業会議は、このたび、都農業経営者クラブとの共催により、千葉県柏市において先進農業経営見学会を開き、都内の認定農業者など約20人が参加しました。

東京都農業経営者クラブ



消費者約50人が立川市内の4経営を見学した

実行委員会のスタッフが都内の農産物を使って調理した料理を味わいました。

参加者からは、「東京にこんなに頑張っている農家がいることに感動」「消費者のことを考えて生産されていることがわかった」などの感想が寄せられました。

東日本ブロックの農委会職員で現地研究

全国農委会職員協

柏市の農業委員長でもある木村多喜雄さん宅のカブ経営では、ほ場を見学し、日本一の生産量を誇る同市におけるカブ生産の歴史や技術について話しを聞きました。また、柏市内の農業者が出資して設立した農産物直売所「かしわで」を見学し、染谷茂社長からは、設立の経過や運営方針などについて話しを聞きました。

全国農委会職員協会は、このたび、仙台市で「東日本ブロック農委会職員現地研究会」を開き、都内から農委会職員など4人が参加しました。現地研究会では、まず全国農業会議所の土木事務局長代理が情勢報告をし、次いで、4名によるパネルディスカッションが開かれ、農委会活動や農地の流動化、地域活性化の取り組みなどについての報告と議論がされました。

八丈島で農業法人の交流会

開く

関東都県農業法人協会主催による交流会「おじやりやれ農業法人研修 in 八丈島」が11月5日～6日に開かれ、農業法人経営者など45人が参加しました。

交流会では、東京青年会議所事務局長の鈴木和仁氏を講師に迎え、「日本の農業に期待する」をテーマに基調講演を行ったほか、八丈町の農事組合法人「大興園」の経営概況について菊池国仁組合長が説明をし、また、現地研究では、遊休農地を再生し設置した施設や地熱利用ハウス、輸出入フェニックスロベレニー鉢物養生施設などを見学しました。



日本一の生産量を誇るカブの生産ほ場を見学する

徳島県上勝町の「葉っぱ事業」 小松島市の人気の直売施設の運営など研究

島しょ農業委員会協議会

島しょ農業委員会協議会（土屋博会長）は10月5日から6日にかけて、徳島県の上勝町と小松島市を現地研究しました。

上勝町の様々な取り組みが取り組む、葉物をつま物として販売する「葉っぱ事業」の儲かる仕掛けと今日にいたるまでの苦労話から現状について、パワーポイントを使って約1時間、横石副社長から説明を受け、その後参加した各農業委員会会長と横石氏との質疑応答となりました。

特に、高齢化率49.06%、989人は県下一であるにもかかわらず、ひとりあたりの



様々な横石副社長を囲んで

医療費が県下一少ない元気な人をつくる高齢者の事業に、真剣な眼差しで聞き入り、熱心にメモを取っていました。これまでもメディアで何回か取り上げられましたが「百聞は一見にしかず」現地を見て話しを聞いて納得しました。

地域資源をどうやって活かすか、葉っぱだけでなくお年寄りの出番をつくることで元気づけ、寝たきり老人も2人しかいなくなり、老人ホームが廃止されたそうです。

翌日は、平成17年3月にオープンしたJA東徳島が運営する直売施設を訪れました。

本の紹介

都市地域のいきいきとした農業や農業者を紹介する「農のあるまちでスローライフ！第4集」が10月に刊行されました。

3人のジャーナリストが現地に赴き、専門的な角度から、時に消費者の視点から、写真をふんだんに使い、その表情を伝えています。

私たちが到着した9時20分には、駐車場はほぼ満車の状態で売り場も活気に溢れ、時期ものの温州ミカンをはじめ特産のすだちや鳴門金時、野菜類から加工食品、海産物まで入園者を対象に恒例の人気イベント

「長野県で紅葉とりんご狩り」バスツアー開く

東京都農業体験農園主会（加藤義松会長）は、11月9日に長野県中野市の池田新一さんの経営する果樹園でりんご狩りを行いました。

これは、農業体験農園の入園者を対象としたバスツアーで、今年で3年目となりますが毎年多くの参加者で賑わいます。池田さんの堆肥や出荷時期にこだわったリンゴづくりは参加者からの共感を受け、



池田さんの説明を熱心に聞き入る参加者たち

で品揃えも豊富で、参加者も箱に詰めて貰い宅配便で島へ発送するほどでした。

店長からの説明は、直売に懸ける熱い思いが込められ圧倒されながら聞き入りました。

手づくりの昼食をともにしながら、交流の時間を楽しみました。

第4集となった本編は「市民の交流・共生まちづくりの取り組み」をメインテーマに、

第1部「各地で生まれる農のあるまち」、第2部「われらが都市農業の担い手」、第3部「応援メッセージ」の3部構成となっています。

第1部では、清瀬市の取り組みが掲載され、ひまわり

フェスティバルや市・農家・商工会の連携により「清瀬ブランド」が生まれるまでの『汗』が描かれています。

そのほか、京都市内でがんばる担い手や心こもる応援メッセージが添えられた都市農業の今を伝える必読の書です。（全国農業会議所刊 41頁 800円）

関東農政局長と都内農業者が意見交換

10月29日に、関東農政局

東京農政事務所主催による「東京都の農業経営体との意見交換会」が、小平市において開かれ、関東農政局長をはじめ各部長・職員と、小平市・立川市・国分寺市・清瀬市・東久留米市の5市の農業者が意見交換をしました。

12月1月の日程

- 12・2(火) 農年制度研究会
- 12・4(木) 農業者・消費者交流セミナー
- 12・17(水) 第9回常任会議
- 12・16(金) 第10回常任会議

◆地区別職員検討会

- 12・8(月) 西多摩
- 12・9(火) 南多摩
- 12・11(木) 北多摩西部
- 12・15(月) 北多摩南部

◆冬期地区別検討会

(会長・職務代理・職員)

- 1・20(火) 島しょ
- 1・21(水) 区内
- 1・22(木) 西多摩
- 1・23(金) 南多摩
- 1・27(火) 北多摩北部
- 1・28(水) 北多摩南部
- 1・29(木) 北多摩西部